

くびらくも



追跡ハイキング 冬の里山を踏破！

赤布の目印をたよりに、コースを探しながら野山を歩くのが追跡ハイキングです。今回で39回目を迎えました。そもそも師小の追跡ハイキングが始まったのは、昭和55年1月です。くしくも私が新米教師として師崎中学校に赴任したのが、昭和55年4月ですので、縁の深さを感じます。

前日にまとまった雨が降りましたので、コンディションが心配されましたが、参加した子どもたちはけがや事故もなく無事全員学校へ戻ってきてくれたので、よかったです。

日本福祉大学の学生さん4名が、ボランティアとして参加してくれました。子どもたちもとても喜んでいました。ありがとうございました。

このハイキングのねらいは、

①縦割りグループ（なかよし班）での活動を通して、一人ひとりが頑張り抜く力や

上級生としての自覚を育て、人と協力する大切さを体得する。

②野山を歩くことを通して、師崎の自然に親しむ。

の2つです。

子どもたちは、6つのなかよし班に分かれて、大縄跳び、ネイチャービンゴ、ジェスチャーゲーム、絵文字解読ゲームなどを楽しみました。

滑りやすい所もあり、低学年の子らは、山の斜面を上がったたり下がったりするのに苦労していました。でも、高学年の子らの助けを得て、無事に踏破することができました。その様子を見ていて、とても心が温まりました。

今後とも、困っている人を思いやる気持ちや人の役に立とうとする気持ちを育てていきたいと思います。

ちなみに今回の絵文字クイズの解答は、「ハゴロモヲカクシテバレタ」でした。正解したのは1つの班だけでした。

追跡ハイキングの始まりです！



開会式



里山を上る



最初のゲームの長縄跳び



竹やぶをくぐり



ネイチャービンゴ



ロープを使って



ジェスチャーゲーム



みんなで絵文字を解読する



助け合って山を下る

1/22朝会講話

1月24日から30日は、 学校給食週間です

今日は、学校給食週間についてお話をします。

そもそも学校の給食はいつから始まったと思いますか。それは、今から130年近く前の明治22年（1889）、山形県鶴岡町の忠愛小学校で、弁当を持ってこれない子どもたちのために始まりました。

しかし、昭和18年頃（1943）になると戦争がはげしくなったため、食べ物が不足して給食も中止になりました。

昭和20年8月に戦争が終わり、世の中が落ち着いた昭和21年12月24日より、学校給食が再び始まりました。

これを記念して、1月24日から30日が学校給食週間となりました。（12月24日は冬休みが始まるため、1ヶ月遅れとなりました）

給食献立の歴史をちょっぴり紹介すると、最初の給食の献立に、おにぎり2個と

塩ざけと菜のつけ物という記録が残っています。

戦後の昭和21年は、ミルク（脱脂粉乳）とみそ汁。

昭和40年、校長先生が、小学校低学年の頃、ソフト麺のカレーあんかけ、牛乳、甘酢あえ、果物、チーズなどで、パンの代わりにソフト麺が登場しました。

そして、昭和52年、校長先生が大学生だった頃には、米飯（ごはん）が登場します。もちろん、これは、地域によって多少ずれがあると思いますが、大まかな献立の歴史を知るのにいいですよ。

この資料、校長室の廊下の掲示板に貼るときから、興味のある子は、見に来てくださいね。

給食センターの皆さんは、学校の児童の皆さんが、健康で縦に横にバランスよく成長していくために、一生懸命に献立を工夫して、おいしい給食を作り続けてくださっています。だから、お礼の気持ちをもって、毎日給食を残さず、食べてください。

